

令和五年度 入学式式辞

燕が舞い、中庭が百花繚乱となる春爛漫の今日の佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立清水谷高等学校令和五年度入学式を挙行できますことは誠に慶びに堪えませぬ。只今、入学を許可された、二百八十名の新入生

の皆さん、ご入学おめでとう。清水谷高校を代表して、皆さんの入学を心から歓迎します。保護者の皆様には、清水谷高校の新たな制服姿になられたお子様の姿に感慨も一入のことと拝察します。お子様の清水谷高校へのご入学、誠におめでとうございませぬ。心からお慶び申し上げます。

新入生の皆さん、皆さんは先般の選抜入学試験を突破し、今日から清水谷高校の栄えある第七十八期生になりました。さて、皆さんが清水谷高校に入ったのは何のためですか？

- ① もっと勉強がしてみたい！
- ② 将来役立つ資格を取るため？
- ③ 良い大学に進学し、良い就職をするため？
- ④ 部活で自分を試したい！ 極めたい！！
- ⑤ 中学とは違う新しい友達や仲間を作りたい！

それとも、なんとなく：自分の学力に合っていたから？ どうですか？ この質問に清水谷高校の校長が答えるなら、それは、『人生を幸せに生きていくため』です。では新入生の皆さんは、どうすれば幸せになれると思いますか？

- ② 名門有名大学に入れば幸せになれる！！？
- ② 大学出て有名企業に入れば幸せになる？
- ③ 医師や弁護士、建築士等有利な資格を取る？
- ④ ともかく非正規でなく正規職に就く？
- ⑤ でもA-が人間の仕事を奪うと言うし？

どうですか？ この質問に校長が答えるなら、『変化する社会の中で自分の好きなことで役割を得て、人の役に立ち、使命を果たす。』ということが大切だと考えています。誰かを幸せにすることが自分を幸せにするのです。

清水谷高校に伝わる大切な精神に『愛と怒』があります。初代校長の大村忠次郎先生が唱えられたもので、西洋のキリスト教にある無償の『愛』、代償を求めずに他の人やものについていつも配慮する愛の寛い心と、東洋の儒教の精神にある「怒」、

一切を許し包容して、進歩向上する心を合わせた精神と考えますが、私たちが人生を幸せに生きていくための大事な教えであると思います。現代に当てはめて言えば、人は皆それぞれ違うという「個性」を尊び、「多様性」を大事にしながら、

色々な人たちと「共生」していくことではないでしょうか。今日は新聞社の記者の方が、この入学式の取材に来られています。事前のお話では、日本で初めてセーラー服を制服にしたという伝統を持つ清水谷高校が、時代の変化に忘れて、

今年度入学生からジエンドレス制服の選択肢を追加したことに、関心を持たれているとのことでした。同一規格での大量生産と大量消費をした時代は終わり、「個性」「多様性」に価値を置き、多様な人と「共生」をすることは、二十一世紀の

世界を持続可能性にしていく鍵です。新型コロナウイルス感染症による混乱とウクライナ紛争を我々は一日も早く終わらせなければなりません。

「我が魂はこの土に根差し 決して朽ちずに 決して倒れずに 我はこの丘 この丘で生きる」で

始まる福山雅浩さんの歌「クスノキ」は、「幾百年越え 時代の風に吹かれ 片足鳥居と共に人々の営みを 歓びをかなしみをただ見届けて」と続きます。明治から令和へと続く百二十年の歴史の中で、清水谷高校のクスノキも自らひたすら空を目指しながら、その袂を歩き交う多くの生徒を見ているのだらうと思います。清美館の前には昭和二十年六月一日に校庭で被爆された方々の冥福を祈る石碑もあります。さあ、新入生の皆さん、今日から皆さんの時代です。新たな時代の新たな

一頁を一人ひとりの主体性と個性でどう描いていくか、切り開くかを考えてほしいと思います。先輩達が築いた歴史と伝統を踏まえつつ、清水谷で学ぶことを糧に、どんな夢を描き世界を目指すのか。自分で好きなことを見つけてそれで社会に

貢献するのも良いし、ただ目の前の道を一生懸命に進む中で何か掴むことがあるかもしれない。人生の紙飛行機はその距離でなく、どう飛んだかどこを飛んだかが一番大切です。是非「The blue-sky is the limit.」真に「青天を衝く」気持ちで、

チャレンジ精神を持って、何事にも挑戦して貰いたいと思います。我々教職員も、クスノキ同様に皆さんを見守りながら、出来る限り応援をします。それが、「学びの庭に光あれ 学びの友に栄あれ」と先ほどの校歌に歌う清水谷高校の伝統

を後世に引き継ぐことになるのだと信じます。

清水谷高校第七十八期生の新入生の皆さんが、今の百花繚乱の如く、勉学に、部活に、学校行事に、二百八十のオンリーワンの花を見事に咲かせて成長し充実した三年間にすることを期待します。

結びに、この式典に参加しているすべての皆さんの幸せを祈念して式辞とします。

本日は、ご入学誠にありがとうございます。

令和五年四月十日 大阪府立清水谷高等学校

校長 日 笠 賢